

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公開番号】特開 2007-60162 (P2007-60162A)
 【公開日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-009
 【出願番号】特願 2005-241686 (P2005-241686)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/00 (2009.01)

H 0 4 W 36/36 (2009.01)

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

H 0 4 B 7/26 1 0 7

H 0 4 L 13/00 3 0 7 C

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

E U L において、移動局が、第 1 識別子を用いて送信された第 1 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第 1 絶対伝送速度、又は、第 2 識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第 2 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第 2 絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する伝送速度制御方法であって、

前記移動局が、前記第 1 絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第 2 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した前記第 2 絶対伝送速度を記憶する工程と、

前記移動局が、該移動局のサービングセルを変更する際に、記憶している前記第 2 絶対伝送速度を削除する工程とを有することを特徴とする伝送速度制御方法。

【請求項 2】

E U L において、移動局が、第 1 識別子を用いて送信された第 1 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第 1 絶対伝送速度、又は、第 2 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した所定条件を満たす場合に用いられる第 2 絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する伝送速度制御方法であって、

前記移動局が、前記第 1 絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第 2 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した前記第 2 絶対伝送速度を記憶する工程と、

前記移動局が、該移動局のサービングセルを変更する際に、無線回線制御局から送信された上りユーザデータの絶対伝送速度の更新情報に基づいて、記憶している前記第 2 絶対伝送速度を更新する工程とを有することを特徴とする伝送速度制御方法。

【請求項 3】

E U L において、第 1 識別子を用いて送信された第 1 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第 1 絶対伝送速度、又は、第 2 識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第 2 絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第 2 絶対伝送速度に基づ

いて、上りユーザデータの伝送速度を制御する移動局であって、

前記第 1 絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第 2 絶対伝送速度制御チャンネルを介して受信した前記第 2 絶対伝送速度を記憶するように構成されている記憶部を具備し、

前記記憶部は、前記移動局のサービングセルを変更する際に、記憶している前記第 2 絶対伝送速度を削除するように構成されていることを特徴とする移動局。

【請求項 4】

E U L において、第 1 識別子を用いて送信された第 1 絶対伝送速度制御チャンネルを介して受信した第 1 絶対伝送速度、又は、第 2 識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第 2 絶対伝送速度制御チャンネルを介して受信した第 2 絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する移動局であって、

前記第 1 絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第 2 絶対伝送速度制御チャンネルを介して受信した前記第 2 絶対伝送速度を記憶するように構成されている記憶部を具備し、

前記記憶部は、前記移動局のサービングセルを変更する際に、無線回線制御局から送信された上りユーザデータの絶対伝送速度の更新情報に基づいて、記憶している前記第 2 絶対伝送速度を更新するように構成されていることを特徴とする移動局。

【請求項 5】

E U L において、第 1 識別子を用いて送信された第 1 絶対伝送速度制御チャンネルを介して受信した第 1 絶対伝送速度、又は、第 2 識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第 2 絶対伝送速度制御チャンネルを介して受信した第 2 絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する移動通信システムで使用される無線回線制御局であって、

前記移動局が、該移動局のサービングセルを変更する際に、該移動局に対して、上りユーザデータの絶対伝送速度の更新情報を送信することによって、該移動局において記憶されている前記第 2 絶対伝送速度を更新するように構成されていることを特徴とする無線回線制御局。